

# 基本目標 1 豊かな自然の中で、安全・安心に暮らせるまち



「あったら良いな！」  
下結城小 古橋 幸芽さん

## 【基本目標1の施策体系】

- 1-1 心地よい自然環境・景観づくり
- 1-2 バランスの良い土地利用
- 1-3 暮らしを支える生活基盤
- 1-4 住みたい・住み続けたい住環境
- 1-5 命と暮らしを守る消防・防災
- 1-6 町ぐるみの防犯・交通安全

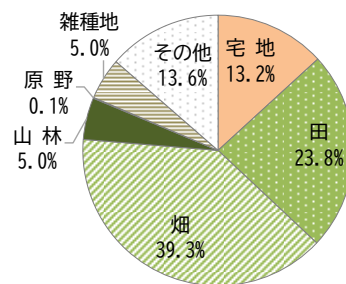
## 1-1 心地よい自然環境・景観づくり



### 現況・課題

- 町域面積は 58.99km<sup>2</sup> で、農地（田畑）が約6割、山林が 5.0%で、多くの緑に囲まれた地域となっています。
- 町域東部に一級河川鬼怒川が流れ、町域南西部には飯沼川、中央部には山川が流れています。
- 豊かな自然環境を将来にわたり維持するため、地域と協働で、緑や河川環境の保全、公園管理、環境美化活動等の身近な環境づくりに取り組むことが必要です。

地目別土地面積の割合



【出典】 税務課（令和6年1月1日現在）

### 基本方針

本町の緑や河川等の豊かな自然環境を保全しながら、良好な生活環境の維持や地球環境対策に取り組み、自然と調和し、快適に暮らせるまちを目指します。

### 目標指標

目標項目	現況値	目標値
1人1日あたりのごみの排出量	508g (R6年度)	478g (R11年度)
ごみのリサイクル率	9.5% (R6年度)	20.0% (R11年度)

### 取組施策

#### ① 緑の保全と育成

- 八千代町森林整備計画に基づき、人工林の間伐や住宅地周辺の森林の整備を促進し、緑の空間の保全を図ります。
- 地域の花壇づくり等の緑化活動や組織づくりを支援し、緑化意識の高揚を図ります。

#### ② 公園の適正な維持管理と整備

- 公園施設の定期的な点検を行い、劣化の見える部分を優先的に修繕しながら、八千代町公園施設長寿命化計画に基づき、予防保全による維持管理を図ります。
- 八千代中央土地区画整理事業地内の街区公園について、周辺住民の方々と意見交換しながら、整備を進めます。
- 地域の子どもたちが集い、安全かつ楽しく遊べる場所を提供するため、遊具の設置や公園の整備を進めます。

### ③身近な生活環境の保全

- 生活道路については、沿道の清掃や植栽など、町民との協働による維持管理を進めます。
- ゴミの排出抑制や分別、再利用、資源化といった3Rにより循環型社会の実現を目指すため、町民の意識啓発を図るとともに、地域の環境美化活動を支援します。
- 野焼きやごみの不法投棄を防止するため、町民や事業所等への意識啓発や、巡回指導等の監視体制の強化を図ります。
- 野生動物による農作物被害や生活圏への侵入などについて生活環境の保全策を図ります。

### ④河川・水路の整備

- 山川の河川改修について、継続して国・県へ要望していきます。
- 用水路の老朽化等について、関係機関と協議したうえで長寿命化対策を図ります。
- 国や地域住民等と連携し、鬼怒川クリーン作戦等の美化活動を行い、河川環境の保全を図ります。

### ⑤良好な景観づくり

- 屋外広告物の規制について、広報・啓発活動やパトロールの実施に取り組みます。
- 地区計画などにより、地域の特性に応じて、土地利用や建物等の規制・誘導を行い、良好な環境形成を図ります。

### ⑥地球にやさしい環境対策

- 省エネ活動について町民への周知・啓発を図るとともに、「八千代町役場地球温暖化対策実行計画」を推進します。
- 持続可能な再生可能エネルギーなどの利用を進めるため、家庭用蓄電池の導入を助成し、公共施設等への太陽光発電設備の導入を促進します。



鬼怒川沿いの環境美化（菜の花）

- 【関連計画】
- ・ 八千代町森林整備計画（R4～R13年度）
  - ・ 八千代町公園施設長寿命化計画（R3～R12年度）
  - ・ 第4次八千代町役場地球温暖化対策実行計画（R6～R12年度）

## 1-2 バランスの良い土地利用



### 現況・課題

- 本町は、町全域が都市計画区域に指定され、市街化区域 144ha、市街化調整区域 5,766ha となっています。
- 市街化区域内には、住居専用区域（3用途）、住居区域（3用途）、近隣商業地域、工業専用地域を指定し、土地地区画整理事業や地区計画により計画的な土地利用を図っています。
- 集落や農地とのバランスを取りながら、主要幹線道路の整備状況などを踏まえ、地域の活力を維持する土地利用を促進することが必要です。

### 都市計画の状況

区域区分/用途地域	面積(ha)
市街化区域	144
第一種低層住居専用地域	23
第二種低層住居専用地域	20
第二種中高層住居専用地域	10
第一種住居地域	38
第二種住居地域	5
準住居地域	6
近隣商業地域	6
工業専用地域	36
市街化調整区域	5,766

【出典】都市建設課（令和7年9月1日現在）  
 ※町の総面積は H26.10.1 より 58.99 km<sup>2</sup> だが、都市計画区域は 59.10 km<sup>2</sup> で変更していない

### 基本方針

快適で活力のある市街地づくりとともに、豊かな自然・田園空間の保全に取り組み、計画的でバランスの取れた土地利用を目指します。

### 目標指標

目標項目	現況値	目標値
住みよいと感じている町民の割合（意識調査）	51.1%（R6年度）	60.0%（R12年度）

### 取組施策

#### ① 計画的な土地利用の促進

- 社会経済情勢の変化や町が抱える都市的課題等に対応するため、本町の都市計画の指針となる八千代町都市計画マスタープランを改訂し、計画的・合理的な土地利用を促進します。
- 都市計画マスタープランに基づき、地区計画の策定、用途地域の変更などを必要に応じて進めます。
- 地域の暮らしの機能が集積する中心的な拠点として、地域拠点の形成を図ります。
- 都市計画マスタープランの改訂及び地区計画の策定などにおいて、町民参加の機会の確保や情報提供を行います。

- 未来ビジョン（基本構想）の土地利用構想における4つのエリア（「暮らしのエリア」・「にぎわい沿道エリア」・「生産・流通エリア」・「農業と暮らしのエリア」）の方向性を踏まえ、それぞれの特性に応じた土地利用を促進します。

## ②快適で活力のある市街地づくり

- 土地区画整理事業の早期完了に向けて、保留地の販売を進めるとともに、民間の宅地開発を促します。
- 生産・流通エリアでの立地企業の拡充や企業誘致を促進するため、既存工業団地の拡張を検討します。

## ③農用地の保全と確保

- 農用地の保全・確保に取り組むとともに、農業や農村が持つ多面的機能を維持・向上させるための活動を支援します。
- 優良農用地の確保・保全を図るため、適正な農地利用と制度運用を推進するとともに、遊休農地の解消に向けて、農業委員会と連携して取り組みます。
- 畑作物を安定的・効率的に生産できるよう、畑地の基盤整備について、要望がある区域等を対象に進めます。



畑地の保全（白菜畑）

- 【関連計画】
- ・ 八千代町都市計画マスタープラン（改訂版）（R2～R22 年度）
  - ・ 八千代町農業振興地域整備計画（R8～R12 年度）
  - ・ 地域農業経営基盤強化促進計画（R7～R16 年度）

## 1-3 暮らしを支える生活基盤



### 現況・課題

- 本町は、国道 125 号や筑西幹線道路、県道結城坂東線などの複数の主要幹線道路が通っています。
- 本町の町道舗装率は 72.0% (R6. 3. 31 時点)、水道普及率は 98.8%、汚水処理人口普及率は 69.5% (R7. 3. 31 時点) となっています。汚水処理人口普及率は県の値を大きく下回っています。
- 暮らしやすい生活環境を維持するため、経済や暮らしを支える広域交通網の整備とともに、生活基盤施設の老朽化や災害、事故などへの対策が必要です。

### 町道、上下水道等の整備状況

		(%)	調査時点
市町村道舗装率	八千代町	72.0	R6. 3. 31
	茨城県	65.8	R5. 3. 31
水道普及率	八千代町	98.8	R6. 3. 31
	茨城県	95.2	
汚水処理人口普及率	八千代町	69.5	R7. 3. 31
	茨城県	89.0	

【出典】町道舗装率：都市建設課  
 その他：茨城県「市町村のデータ」  
 (令和 7 年 11 月 1 日現在公表値)

### 基本方針

広域交通網の整備促進や、道路や橋りょう、上下水道等の生活基盤の計画的な維持管理・更新により、安心な暮らしを持続できる生活基盤づくりを目指します。

### 目標指標

目標項目	現況値	目標値
町内の橋梁数と点検巡目及び改修数	147 橋：点検 3 巡目 改修：7 橋 (R6 年度)	147 橋：点検 4 巡目 改修：12 橋 (R11 年度)
汚水処理人口普及率	69.5% (R6 年度)	72.0% (R11 年度)

### 取組施策

#### ①主要幹線道路の整備促進

- 国道 125 号バイパス、県道つくば古河バイパス、筑西幹線道路の整備完了に向けて、県に対し継続して要望していきます。

#### ②町道などの整備と維持管理

- 町内の骨格的な幹線道路網を構成する主要な町道を計画的に整備します。
- 生活道路となる一般町道については、舗装や排水等の整備を状況に応じて計画的に進めるとともに、定期的な道路パトロールにより危険箇所の補修などを行います。
- 町民と協力しながら、道路環境・景観の維持に向けた清掃活動や除草活動を進めます。

### ③橋梁の維持管理

- 長寿命化修繕計画に基づき、定期的な点検や計画的な補修など、維持管理を行います。

### ④良質でおいしい水の供給

- 引き続き良質かつ安全な水の供給に取り組むとともに、技術者の確保・育成を図ります。
- 災害・事故による施設の被害を未然に防ぐため、水道施設や管路の更新・耐震化を計画的に推進します。
- 県が推進する水道事業の経営統合に向けて、アセットマネジメント計画に基づき持続可能な水道事業の実現を図ります。

### ⑤公共下水道の整備・普及

- 公共下水道全体計画に基づき、認可区域の下水道整備を進めるとともに、次期認可区域の選定について協議を行います。
- 供用開始区域においては、公共下水道への接続を促進し、健全な事業経営と公共用水域の水質保全を図ります。

### ⑥農業集落排水事業の推進

- 農業集落排水施設について、老朽化施設の計画的な更新を図るとともに、大規模改修や統廃合、又は公共下水道への接続について調査研究を進めます。
- 供用開始区域においては、農業集落排水への接続を促進し、接続率の向上と公共用水域の水質保全を図ります。

### ⑦合併処理浄化槽の普及

- 公共下水道及び農業集落排水の整備が当面見込まれない区域においては、合併処理浄化槽の普及の加速化を図るため、補助事業の見直し内容を周知し、制度の活用を促します。
- 合併処理浄化槽の適正な維持管理を図るため、法定検査を受けていない設置者に対し、県と協働で個別指導も検討します。

### ⑧生活排水処理計画の推進

- 鬼怒小貝流域下水道事業との整合を図り、費用対効果を重視した事業展開を目指します。

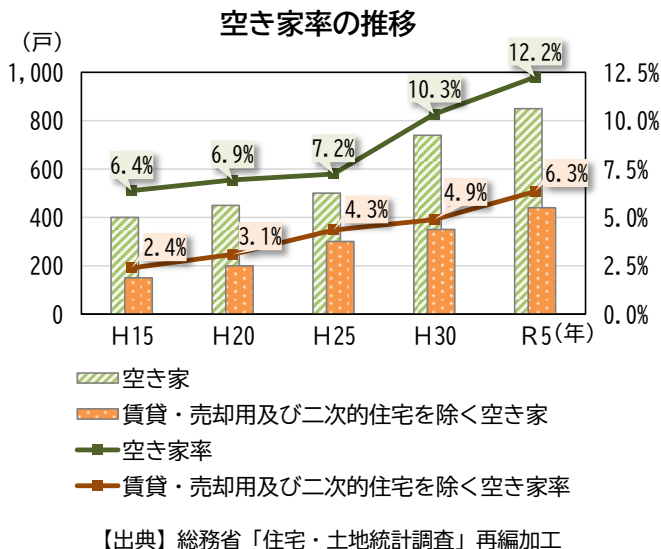
- 【関連計画】
- ・ 八千代町橋梁長寿命化修繕計画【第2期計画】(R2～R11年度)
  - ・ 八千代町水道ビジョン(改定版)(R3～R12年度)
  - ・ 八千代町污水处理アクションプラン(H28～R8年度)

## 1-4 住みたい・住み続けたい住環境



### 現況・課題

- 本町の空き家については、年々増加しており、全体の空き家率は令和5年（2023）には1割を超え、賃貸・売却用を除いても6.3%に達しています。
- 本町では、移住・定住の支援策や空き家の利活用に取り組んでいますが、これらの取組を周知し、魅力をアピールすることが必要です。
- 令和2年度からはデマンドタクシー「八菜まわ〜る号」を運行しています。今後は、路線バス等との連携により、車がなくても移動しやすい公共交通環境を整えることが必要です。



### 基本方針

移住・定住に向けた取組とともに、空き家の利活用や公共交通の維持確保により快適な住環境を整え、「住んでみたい」「住み続けたい」と想えるまちを目指します。

### 目標指標

目標項目	現況値	目標値
転入者住まい応援助成金交付件数 (4年間の累計)	104件 (R3~R6年度)	150件 (R8~R11年度)
デマンド交通の延べ利用者数	4,169人 (R6年度)	7,600人 (R11年度)

### 取組施策

#### ① 移住・定住の促進

- 本町への移住・定住を促進するため、住宅取得者の負担を軽減する取組を進めるとともに、子育て世代の移住促進策を推進します。
- 地域住民や各種団体と連携しながら、本町での暮らしの魅力を発信するシティプロモーションを展開します。
- 「いばらき移住ナビ」など様々なメディアを活用し、移住希望者への情報提供を行います。

- 新婚者の町内居住や中心市街地での住宅取得など、新生活を始める世帯の支援に取り組むとともに、取組の周知を図ります。
- 住宅の耐震診断や耐震改修、合併浄化槽整備などを支援し、安全・快適で暮らしやすい住環境の整備を進めます。
- 年齢や性別、国籍などに関わらず、誰もが本町で快適に暮らすことができる共生社会づくりを町民、企業、行政が一体となって進めます。

## ②空き家対策や利活用の促進

- 空き家管理システムの活用や関係機関との連携により、空き家情報などの適正管理を図ります。
- 空き家の増加による景観や治安の悪化などを防ぐため、所有者への意識啓発や老朽化した空き家の解体補助などの対策に取り組めます。
- 空き家の所有者、購入等希望者に向けて、個別相談会やセミナーを開催し、空き家の利活用を推進します。

## ③公共交通の維持確保

- 公共交通手段として路線バスの運行や利便性向上を支援し、維持確保を図ります。
- デマンド交通「八菜まわ〜る号」の利便性向上と利用促進を図ります。
- 高齢者や障がい者などが、町外の医療機関への移動手段として利用する福祉タクシーの運賃助成を周知し、利用促進を図ります。
- 地域公共交通の連携・延伸や、タクシーの運賃助成などにより、町外への広域的な移動の支援を検討します。
- 国や県、関係市町と連携して、東京直結鉄道（地下鉄8号線）の誘致活動を進めます。



デマンド交通「八菜まわ〜る号」

【関連計画】 ・ 八千代町地域公共交通計画（R6～R10 年度）

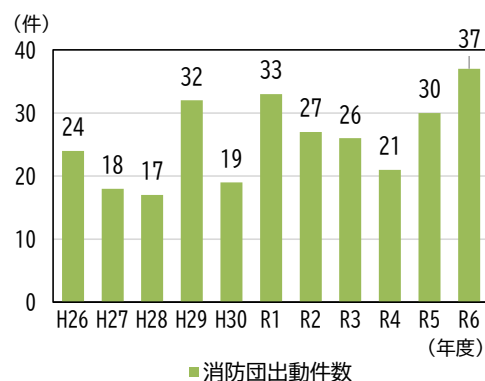
## 1-5 命と暮らしを守る消防・防災



### 現況・課題

- 本町の消防団出動件数は、20件～30件で推移していますが、野焼き等の通報が多い年は30件を超える件数となっています。
- 本町では、複雑化・多様化する災害などに周辺市町村と連携して対応するため、茨城西南地方広域市町村圏事務組合による広域消防体制を整えています。
- また、地域防災力を高めるため、防災士会を設立し、防災啓発活動を展開しています。
- 平成27年9月の関東・東北豪雨による水害から10年以上が経過しましたが、近年は頻発化・激甚化する地震や大雨等の災害に対し、より一層の備えが必要です。

消防団出動件数



【出典】消防交通課

### 基本方針

消防・救急体制の充実や地域防災力の強化、災害に強いまちづくりなどを進め、町民の命と暮らしを守る総合的な消防・防災体制づくりを目指します。

### 目標指標

目標項目	現況値	目標値
防災士数	19人 (R6年度)	39人 (R11年度)
災害時連携協定の締結数	34件 (R6年度)	45件 (R11年度)

### 取組施策

#### ①消防・救急体制の充実

- 西南地方広域市町村圏事務組合の運営を支援し、常備消防と救急体制の充実・強化を図ります。

#### ②地域防災力の充実・強化

- 消防団の活動に必要な装備の充実や施設の整備更新を計画的に行い、消防団の充実強化を図ります。

- 消防団への加入促進を図るため、団員のサポート体制の強化など環境整備を進めます。
- 火災予防運動、防災訓練やマイタイムライン講座を充実し、子どもから高齢者まですべての町民の防災意識を高めます。
- 防災士の資格取得や活動を支援し、自主防災組織などの地域防災活動を促進します。

### ③防災・減災対策の充実

- 地域防災計画に基づき、関係各課・機関と連携した具体的な災害応援体制を構築します。
- 防災備蓄倉庫や防災資材の整備、備蓄品の更新を計画的に進めるとともに、災害時の物資確保に向け、多様な機関との災害時連携協定の締結を図ります。
- 防災行政無線の維持管理や更新を適切に行うとともに、防災行政無線を補完するため、新たな情報発信手段との連携を図ります。
- ハザードマップや広報紙、ホームページ、携帯メールなどの様々な情報提供手段を活用し、分かりやすい情報提供を進め、町民の防災意識を高めます。
- 小中学校などでの避難訓練や防災教室などの防災教育を実施し、災害時に的確に行動できる児童生徒の育成を図ります。
- 災害時に、要支援者の把握や誘導を円滑に行えるよう、民生委員・児童委員や行政区などと連携し、避難誘導のシミュレーションなどに取り組みます。

### ④災害に強いまちづくり

- 集中豪雨などにも対応できるよう、鬼怒川堤防の維持管理及び山川の護岸改修について、国・県に継続して要望していきます。
- 公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の計画的な耐震化又は施設更新を進めます。
- 国土強靱化地域計画に基づき、道路等の生活基盤の防災・減災対策や耐震化を進めるとともに、住宅等について支援制度の周知を図り、耐震化を促進します。



水防訓練

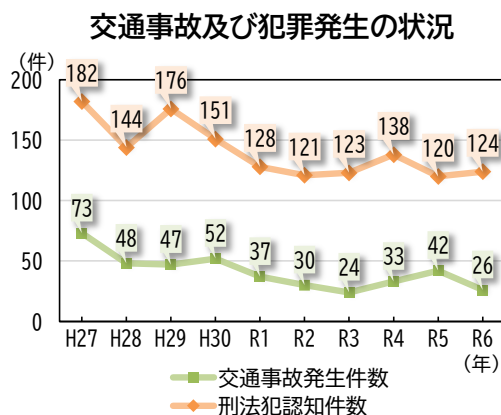
- 【関連計画】
- ・ 八千代町地域防災計画（改訂）（R7年度～）
  - ・ 八千代町国土強靱化地域計画（R4～R7年度）
  - ・ 八千代町公共施設等総合管理計画（改訂）（R4～R13年度）
  - ・ 八千代町公共施設等個別施設計画（R7～R16年度）

## 1-6 町ぐるみの防犯・交通安全



### 現況・課題

- 本町では、防犯カメラや防犯灯の設置、防犯パトロールの実施などを促進し、防犯対策を進めています。
- 交通安全については、警察等の関係機関や関係団体と連携して、意識啓発に取り組むとともに、カーブミラー等の安全施設の設置を進めています。
- 本町の交通事故及び犯罪発生状況をみると、どちらも近年減少傾向にあります。
- 一方で、全国的に農作物や農機の盗難から、国際的な特殊詐欺事件まで、多種多様な犯罪や事故が発生しており、様々な対策を組み合わせ、地域全体で安全安心なまちづくりに取り組む必要があります。



【出典】茨城県警「交通白書」  
// 「市町村別の認知件数・犯罪率」

### 基本方針

警察や学校、地域など様々な関係機関や関係団体と連携し、多種多様な防犯対策や交通安全対策を充実させ、町全体で安全・安心な地域社会の実現を目指します。

### 目標指標

目標項目	現況値	目標値
防犯灯の設置数	2,504 灯 (R6 年度)	2,600 灯 (R11 年度)
防犯カメラの設置数 (行政区設置数含む)	132 基 (R6 年度)	150 基 (R11 年度)

### 取組施策

#### ①防犯対策の推進

- 防犯体制を強化するため、関係機関と連携して、防犯カメラの設置や貸出しを進めます。
- SNSやインターネット等を利用した特殊犯罪などの被害防止に向け、関係機関と連携して、多様な情報提供手段により広報・啓発活動を進めます。
- 関係機関や団体と連携し、防犯パトロールなどを引き続き実施するとともに、将来に向けて担い手の育成を図ります。

- 犯罪の抑止や通学路などの安全を確保するため、LED化した防犯灯の適切な維持管理を図ります。

## ②交通安全対策の推進

- 関係機関や各種団体と連携し、子どもや高齢者を対象にした交通安全教室や交通安全運動を展開し、交通安全に対する意識を高めます。
- 交通事故の発生を防止するため、カーブミラー、ガードレールなどの交通安全施設の整備や適切な維持管理を図るとともに、関係機関と連携して危険個所の安全対策を進めます。

## ③消費生活の安全確保

- 消費生活センターに専門相談員などを配置し、相談・指導体制の充実を図ります。
- 関係団体と連携し、消費者トラブルなどに関するイベントでの啓発活動や情報発信・提供を行い、被害の未然防止や問題の早期解決を図ります。

## ④犯罪被害者の支援

- 関係機関や各種団体と連携し、被害者に対する相談・支援を行います。



小中学校での交通安全教室

## 「ゼロカーボンシティ」宣言のまち

近年、世界各地で地球温暖化が原因とみられる自然災害が増え、私たちの暮らしにも影響が及び始めています。そこで国は、2050年までに二酸化炭素の排出量と吸収量を±0にする「カーボンニュートラル」の実現を目指しています。

本町も令和4年（2022）6月に「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。豊かな自然を守り、町民が安心して暮らせる環境を次の世代へ引き継ぐために、町として省エネ設備や再生可能エネルギーの導入を進めています。

しかし、行政だけでは十分ではありません。家庭や事業所が少しずつ工夫を重ねることが大切です。例えば――

- ・ エアコンの温度を1度調整する
- ・ 冷蔵庫の開け閉めを減らす
- ・ LED照明に切り替える

こうした小さな取り組みが積み重なれば、大きな成果につながります。

「未来の子どもたちに、八千代町の豊かな環境を伝えていきたい」

そんな思いを込めて、町と皆さんと一緒に歩いていくことが、ゼロカーボンシティの実現につながります。今日からできる身近な省エネに、皆さんもぜひ取り組んでみませんか。



「環境豊かな八千代町」  
川西小 内海 こはるさん